

タンザニア・ヘルス・サミット 2026 概要

背景と目的

タンザニア・ヘルス・サミット (THS) は、タンザニア最大の年次医療プラットフォームであり、医療政策、官民連携、イノベーションの促進、研究成果の発信、多様なステークホルダー間の連携を推進する、東・中央アフリカで最も影響力のあるフォーラムの一つです。

THS は、医療へのアクセスおよび医療成果の向上を目的とした非営利団体として 2014 年 5 月に設立されました。設立以来 10 年以上にわたり、その活動範囲、影響力、戦略的重要性を着実に拡大し、現在では医療システム改革を推進する代表的なプラットフォームへと発展しています。

下記は 2025 年 10 月 1 日～3 日にダルエスサラームのジュリウス・ニエレレ国際会議場 (JNICC) で行われた第 12 回サミットの参加実績です。

- ・登録参加者：1,740 名
- ・査読付き研究発表フォーラム：36 件
- ・プレナリーセッション：2 セッション
- ・CEO ラウンドテーブル：1 回
- ・展示ブース：53 ブース

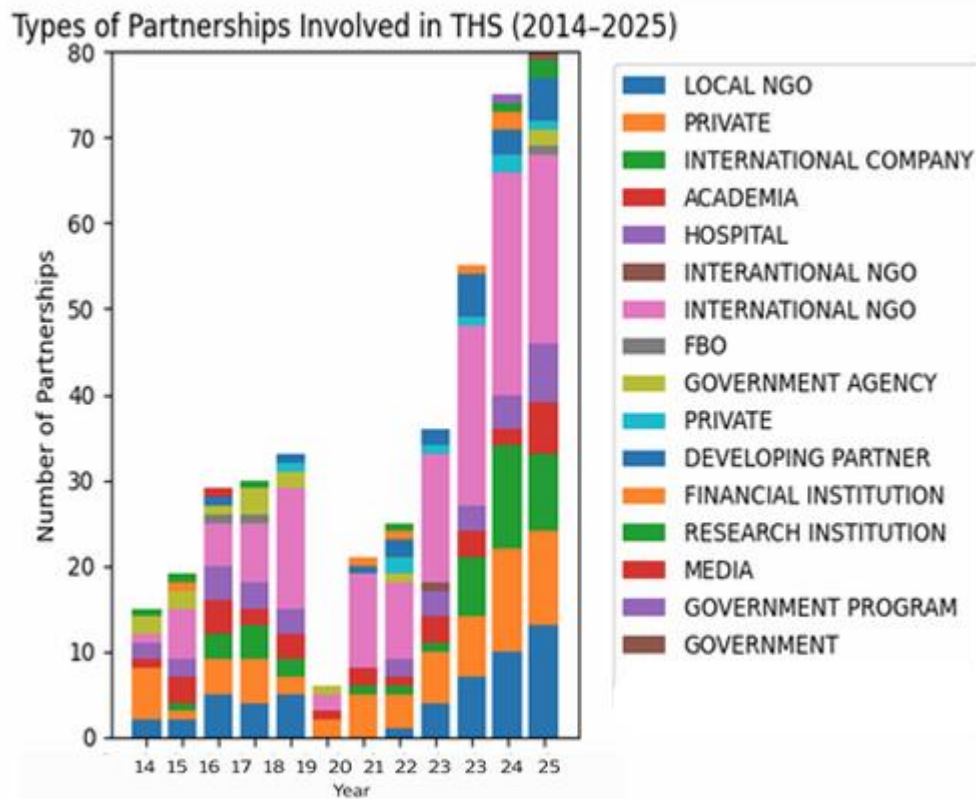
THS は 2021 年から 2025 年にかけて、規模・内容ともに継続的な成長を遂げており、過去 5 年間で、年間平均参加者数は **558 名** から **1,800 名超** へ増加しました。また、海外からの参加者数も、年間平均 **15 名** から **250 名超** へ増加し、現在では **25 か国以上** から参加者を迎えています。

＜THS の主なプログラム＞

THS では、多様なプログラムを制度化し、毎年実施しています。

- 査読付き研究発表
 - 年間約 197 件（従来の年間平均約 90 件から増加）
- 構造化政策討論
- 医療技術展示
- 若手人材育成プログラム（YOCAB）
 - 年間約 100 名を対象
- 医療イノベーション・アワード（CHIA）
 - 年間 40～50 件のイノベーション応募
 - メンタリングを通じて上位 3 件を支援
- 全国医療表彰
 - 年間 13 部門
 - 年間 250 件以上の推薦
- 大規模医療展示会
 - 50 社以上が出展
- 地域保健従事者（CHW）および地区医療責任者（DMO）向けシンポジウム

THS におけるパートナーシップの推移（2014～2025 年）



THS 2026 の概要

<参加規模・ネットワーク>

- 参加者数（予定）： **2,000** 名以上
- 参加国・地域： **25** か国以上
- 参加者構成： 国内 **60%**／海外 **40%**
- 登壇者・パネリスト： **250** 名以上
- 参加機関： **350** 機関以上
 - 政府機関
 - NGO
 - 民間企業
 - 学術機関

<政府関係者>

- 大臣・副大臣： **10** 名以上
- 事務次官、局長、政府機関長： **20** 名以上
- 地域・国際機関
 - 東アフリカ共同体（EAC）
 - アフリカ疾病予防管理センター（Africa CDC）
 - 国連機関（UN Agencies）
- ハイレベル CEO ラウンドテーブル
 - **30～40** 名の企業経営者・CEO が参加

<プログラム内容>

- 基調講演： **3** セッション
- ハイレベル外交・気候変動対話： **1** セッション
- テーマ別セッション・パネルディスカッション： **40** セッション以上
- 若手人材育成ワークショップ： **1** 回
- 医療アワード授賞式

主要テーマ

1. デジタルヘルスと AI
2. 非感染性疾患（NCDs）とパンデミックへの備え
3. 医療財政とユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）
4. 気候変動・外交・保健安全保障
5. 医療産業化と現地製造（ローカル・マニュファクチャリング）

<研究・イノベーション・知識>

- 研究発表（アカデミア・実務者）： **200 件以上**
- 医療イノベーション・アワード
 - **CHIA（Youth Health Innovation Showcase）**：若手イノベーション 3 件を表彰
 - 医療従事者向け **13 部門**の表彰

保健分野の現状：タンザニアと世界的な課題

<世界の保健を取り巻く環境>

世界の保健分野は、開発援助の縮小、地政学的優先事項の変化、国内財源への依存拡大など、「援助依存からの移行期（ポストエイド時代）」を迎えています。

こうした状況の中、THS は、医療財政、保健主権、イノベーション、そして変化する国際情勢に対応するレジリエンス（強靱性）について議論する戦略的なプラットフォームとして重要な役割を担っています。

<タンザニアの保健医療の現状>

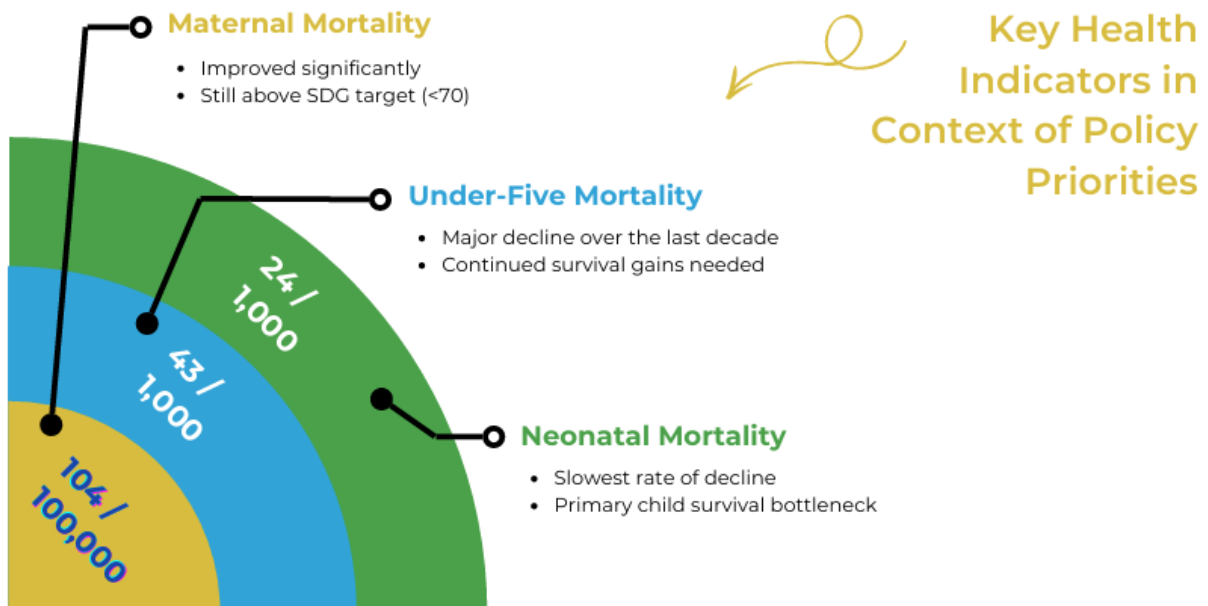
- タンザニアの人口は**約 6,000 万人（2022 年推計）**で、若年層が多く人口増加も続いています。この人口動態を背景に、全国で質の高い、公平かつアクセスしやすい医療サービスへの需要が高まっています。
- 近年、疾病対策、プライマリ・ヘルスケアの拡充、公衆衛生活動の強化により、平均寿命は改善しています。

- 一方で、タンザニアは依然として**「三重の疾病負担（Triple Burden of Disease）」**に直面しています。
 - 感染症（マラリア、HIV、結核など）
 - 栄養不良
 - 非感染性疾患（NCDs）（心血管疾患、糖尿病、がん、慢性呼吸器疾患など）
- また、妊産婦保健、新生児保健、子どもの健康に関する課題も依然として残っており、生存率や長期的な健康アウトカムに影響を与えています。
- これらの複雑な課題に対応するためには、予防、早期発見、質の高い医療提供を強化する、保健システム全体を対象とした包括的なアプローチが求められています。

<政策上の重点分野>

下記のグラフは主要保健指標を表しています。

- 妊産婦死亡率：241／出生 10 万人当たり
- 5 歳未満児死亡率：43.1／出生 1,000 人当たり
- 新生児死亡率：24.1／出生 1,000 人当たり



THS 2026 の開催意義と戦略的重要性

THS 2026 は、世界の保健分野を取り巻く急速な変化に対応します

以下のような世界的な保健課題に直接対応することを目的としています。

1. 従来のドナー資金の減少と援助の再編
 - a. 各国において、国内資源の動員強化や民間セクターとの連携拡大が求められています。
2. AI・デジタルヘルス・ヘルス産業化の急速な進展
 - a. 医療サービスの提供方法や保健ガバナンスのあり方が大きく変化しています。
3. 気候変動に伴う健康リスクと国境を越える保健課題の深刻化
 - a. 気候変動による健康被害や感染症など、越境的な健康リスクへの対応が急務となっています。
4. パンデミックへの備えと非感染性疾患（NCDs）の増加への同時対応
 - a. 感染症への備えを強化するとともに、生活習慣病などの非感染性疾患の増加にも継続的な対策が求められています。

<THS 2026 のテーマ>

「変化する世界における保健主権の確立と強靱な保健システムの構築」

本サミットは、政策立案および投資促進のためのインキュベーション・プラットフォームとして機能し、各国が援助依存から脱却し、自国主導による持続可能な保健システムへ移行することを支援します。

• 保健主権の強化

各国政府、関係機関、地域社会が、それぞれの国情に応じた持続可能な保健ソリューションを自ら設計・主導できるよう支援します。

- 官民連携（PPP）の促進

保険会社、医療機関、製造業、テクノロジー企業、金融機関など、多様な関係者を 40 のテーマ別フォーラムおよびハイレベル CEO ラウンドテーブルを通じて結び付けます。

- イノベーションの社会実装の加速

AI、デジタルヘルス、医療機器・医薬品等の現地製造、予測分析などの導入を、イノベーション展示会や CHIA（Health Innovation Awards）を通じて促進します。

- 強靱な保健システムの構築

人材育成（制度化された地域保健従事者（CHW）フォーラムを含む）、医療サービス提供体制、サプライチェーン、緊急時対応能力などを強化し、保健システム全体のレジリエンス向上を目指します。

<特別講演・ハイレベルセッション>

講演 1

成長と安全保障に向けたグローバル・ヘルスケアにおける AI、デジタル化および医療産業化戦略

講演 2

パンデミックへの備えと非感染性疾患（NCDs）の増加に同時に対応する保健システムの構築

ハイレベル会合

国境を越える健康課題：気候変動、外交、グローバル交渉

THS 2026 成果フレームワーク

成果レベル・期間	成果・インパクト	主な指標
長期的インパクト（5年以上）	持続可能な国内主導、制度化されたイノベーション、統合的なパンデミック・気候変動・非感染性疾患（NCDs）対策を通じて、保健システムの自立性、レジリエンス（強靱性）、保健主権が強化される。	・優先保健サービス（特にプライマリ・ヘルスケア）に対する国内財源の割合の増加 ・ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）のサービス提供・財政保護指標の改善 ・健康危機に迅速に対応できる国家保健システムの構築
長期的成果（3～5年）	保健イノベーションのエコシステムが国家保健システムに制度化され、単発の実証事業ではなく継続的な適応・拡大が可能となる。	・国家または地方レベルのプログラムへ導入されたイノベーションの件数・割合 ・CHIA 支援イノベーションの本格展開件数
	地域保健従事者（CHW）や地区保健行政を含む最前線の医療提供体制が、データを活用した連携体制のもとで運営される。	・機能的な CHW 連携体制の構築 ・地区レベルにおける保健指標（サービス提供率、質、迅速性）の改善
中期的成果（1～3年）	国および地方レベルの関係機関が、保健財政、ガバナンス、保健システム運営において、データに基づく意思決定能力を強化する。	・HMIS（保健情報管理システム）、分析ツール、ダッシュボードの活用拡大 ・エビデンスに基づき策定された政策・戦略の件数
	ドナー、民間セクター、国内投資の連携が強化され、重複を削減し、投資効率が向上する。	・共同出資・共同実施プロジェクト数 ・主要プログラム間の重複の削減
	エビデンスに基づく革新的な取組が、実証事業から国家レベルの制度へと展開される。	・本格展開へ移行した実証事業（パイロット）の件数 ・実証済みイノベーションの導入率
短期的成果（0～12か月）	政策立案者が活用できる政策提言、技術的提言、および実施に向けた成果物が作	・作成された政策提言書、ロードマップ、技術提言書

	成され、実際の政策決定に活用される。	の件数 ・政策への採用・承認実績
	構造化されたパートナーシップおよび正式な協力覚書が締結され、実証済みの取組の実施が加速する。	・締結された協力覚書の件数 ・策定された共同アクションプランの件数
	デジタルヘルス、人材育成、医療サービス提供に関するイノベーションについて、投資可能なプロジェクトパイプラインが構築される。	・投資家へ紹介されたイノベーション案件数 ・投資に向けたフォローアップ協議の件数